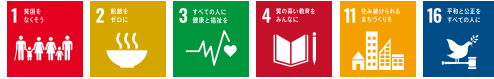


3-1-1

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

3-1 心豊かな人を育むまちづくり



成田の未来をつくる教育を推進する

4年後の
目指す姿

これからの社会を生き抜いていくために必要な子どもたちの「確かな学力」、
「豊かな心」、「健やかな体」が育まれています。

4年間の
取組方針

子どもたちが社会を生き抜く力を育むため、人的支援やICT教育の推進により教育環境の充実を図るとともに、個々の状況に応じたきめ細かな支援を行うため、教育相談員等の配置や適切な就学指導を行うなど、社会の変化に対応した教育を推進します。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
週3回以上、授業で タブレット端末を使用する 児童・生徒の割合	%	—	—	74.2	100.0
親子方式等による 給食施設の整備箇所数	箇所	2	3	5	6
教育相談員配置校数	校	12	12	12	17

現状と課題

未来をつくる子どもたちの生きる力を育むために、学校教育振興基本計画に基づき、社会の変化に対応した学校教育環境づくりに取り組んでいます。

新しい時代に対応するための資質や能力を育む特色ある教育基盤を構築するため、タブレット端末を活用したICT教育の推進や教職員の人材確保と資質向上を図るとともに、児童生徒が安心して学校生活を過ごせるよう、教育相談員やスクールソーシャルワーカーの配置、適切な就学指導の実施など、きめ細かな支援が必要となります。

また、少子化が進む中、子どもたちが将来にわたりスポーツ・文化に親しむ機会を確保するため、部活動の地域移行を段階的に進めていく必要があります。

さらには、長寿命化計画に基づく学校施設の改修やバリアフリー化など、教育環境の充実を図るとともに、学校給食については、親子方式及びセンター方式の給食施設の整備によるアレルギー除去食の拡大に加え、給食費無料化などによる子育て世帯の経済的負担の軽減が求められています。



施策の方向

1 学習指導内容の充実に努めます。

特色ある学校づくりや教育課程の編成を進めるとともに、タブレット端末を活用した効果的な学習の充実に努めます。また、学力調査結果を活用し、学力向上と指導の工夫改善に向けて取り組みます。

主な事業 特色ある学校づくり事業、学力調査事業、小・中学校教育情報化推進事業

2 教育環境の充実に努めるための施設整備を推進します。

安心・安全な教育環境を維持するため、老朽化した成田小学校の改築をはじめ、計画的な学校施設の改修やバリアフリー化を推進するとともに、熱中症対策として体育館の空調設備を整備します。また、児童生徒にとって望ましい学校給食を提供することを目的として、親子方式及びセンター方式の給食施設を整備します。

主な事業 小・中学校長寿命化改良事業、学校給食施設整備事業、成田小学校改築事業

3 よりよい学校教育環境づくりを推進します。

学校の抱える解決困難事案に関し、有識者等で構成する支援チームが解決に向けた指導・助言・支援を行います。また、児童生徒の就学に要する経費の一部援助を行い、保護者の負担軽減を図るとともに、教育相談・就学相談の充実に努め、学校教育を支援します。さらに、教職員の資質向上のため、社会の変化や教育課程に対応した研修を実施します。

主な事業 学校問題解決支援事業、小・中学校就学援助費支給事業、教育センター運営事業

4 健やかな心と体力の増進を図ります。

児童生徒の健康増進及び体力の向上を図るとともに、豊かな心を育むため「心の教育」の充実に努めます。また、生徒がスポーツ・文化に親むることができる機会を確保するため、部活動の地域移行を進めます。さらに、給食費の段階的な無料化について検討します。

主な事業 児童生徒等健康診断事業、部活動地域移行モデル事業、学校給食事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

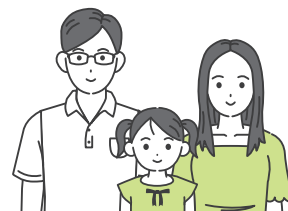
- 学校教育への理解
- ボランティア活動や学校外での教育活動などの支援

行政の役割

- 学習指導内容の充実
- 教育環境の整備
- 学校及び保護者に対する支援

関連する個別計画

- 成田市学校教育振興基本計画、成田市学校施設長寿命化計画、学校給食施設整備計画



3-1-2

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

3-1 心豊かな人を育むまちづくり



学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる

4年後の
目指す姿

学校を支援する活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる環境が整っています。

4年間の
取組方針

地域の多様な人材や各種団体等の参画により、子どもたちの健全な成長を支え、学校・家庭・地域が連携・協働する学校支援活動を推進し、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを進めるほか、家庭教育支援の充実を図ります。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
学校支援のための 地域コーディネーター数	人	4	13	16	29
家庭教育学級参加者数	人	10,536	10,393	3,287	11,000

現状と課題

子どもたちの健やかな成長を地域ぐるみで支えるため、全校に学校運営協議会を設置するとともに、学校支援地域本部の設置を推進し、学校・家庭・地域の連携を通じた教育体制づくりを進めています。今後は、地域コーディネーターの人材の確保と育成に努め、学校と地域とが相互にパートナーとして連携・協働した「学校を核とした地域づくり」を進めていく必要があります。

また、家庭教育学級では、保護者同士がつながりを深めるとともに、親としての必要な心構えや知識・技能を身につけられるよう保護者のニーズに合わせた講座の開催や、学校や地域の特色を生かした自主的・創造的な取組みを行うことにより、家庭の教育力の向上を図っていく必要があります。



施策の方向

1 地域ぐるみで子どもを育む体制づくりを推進します。

学校運営協議会の推進により、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる体制を整えます。また、学校支援地域本部の取組みを推進し、地域コーディネーターを中心として、地域が参画する学校支援体制をつくります。

主な事業 学校運営協議会推進事業、学校支援地域本部事業

2 家庭教育の向上に向けた支援を行います。

児童生徒の個性や各家庭の状況に応じた取組みの充実を図るとともに、親としての必要な心構えや知識・技能を身につけ、家庭教育力の向上を図ります。また、地域ボランティアや家庭教育支援団体の人材活用を推進します。

主な事業 家庭教育学級開催事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 地域の子どもを育む意識の醸成
- 地域ボランティアなどへの積極的な参加
- 家庭での子どもとの交流

行政の役割

- 学校運営に対する地域住民の意見の反映
- 地域ボランティアが参画しやすい学校支援の仕組みづくり
- 家庭教育力の向上に向けた取組みの促進

関連する個別計画

- 成田市学校教育振興基本計画、成田市生涯学習推進計画



3-1-3

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

3-1 心豊かな人を育むまちづくり



幼児教育を推進する

4年後の
目指す姿

充実した幼児教育環境の中で、次代を担う子ども達が心豊かにたくましく生きる力を身に付けられる社会が構築されています。

4年間の
取組方針

大栄幼稚園の適切な管理運営により、たくましく心豊かに生きる子どもの育成に努めます。また、私立幼稚園への支援を進め、教育環境の更なる充実と幼児教育の振興を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減に取り組みます。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
幼稚園在籍者数	人	2,341	1,949	1,225	2,000

現状と課題

幼稚園教育の振興を図るため、公立の大栄幼稚園を運営し、教育時間終了後や夏休み等の長期休業期間に預かり保育を実施するなど、幼児教育と子育て支援により家庭における幼児期の教育支援に努めるとともに、私立幼稚園に対しては、教材の購入費用や職員の研修費用、施設整備費用などの運営経費に対する補助を実施しています。また、保育料の無償化と預かり保育料への経済的支援により、子育て家庭に対する費用負担の軽減を図っています。

近年、生活様式の変化や共働き世帯の増加などによる保育ニーズの高まりにより、保育時間の長い保育園等の園児数が増加する一方、幼稚園の園児数は減少しています。今後は、幼稚園における子育て支援活動の充実や、質の高い幼児教育の提供に取り組む必要があります。



施策の方向

1 公立幼稚園の運営の充実を図ります。

質の高い幼児教育を提供するため、研修などを通じて職員のスキルアップを図り、園児へのきめ細かな対応や、預かり保育の充実に努めます。また、保護者の負担軽減を図るため、保育料の無償化と預かり保育料への経済的支援を実施します。

主な事業 大栄幼稚園管理運営事業、子ども・子育て支援施設等利用給付事業

2 私立幼稚園における幼児教育の振興を図ります。

私立幼稚園の運営に係る経費に対する補助を実施することで、幼児教育の質の向上や振興を図るとともに、子育て家庭の費用負担の軽減を図るため、保育料の無償化と預かり保育料への経済的支援を実施します。

主な事業 私立幼稚園幼児教育振興事業、子ども・子育て支援施設等利用給付事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

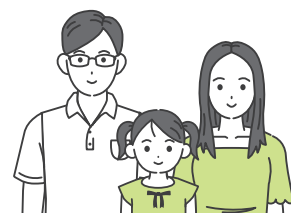
- 幼稚園教育への理解
- 幼稚園行事への参加・協力

行政の役割

- 幼稚園に通う保護者の経済的負担の軽減
- 大栄幼稚園の適正な管理運営
- 私立幼稚園の運営支援

関連する個別計画

- 成田市子ども・子育て支援事業計画、成田市学校教育振興基本計画



3-1-4

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

3-1 心豊かな人を育むまちづくり



青少年を健全に育成する

4年後の
目指す姿

地域や様々な団体の参画により、体験・交流活動が活性化し、青少年の健やかな成長と自立ができる環境が整っています。

4年間の
取組方針

青少年の健やかな成長と自立を促すため、地域や関係団体と連携を図り、自然体験や社会体験、ボランティア体験など様々な機会を提供して、青少年健全育成活動の普及・啓発に取り組み、子どもの安全・安心な居場所づくりの推進を図ります。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
青少年育成団体主催行事への 児童生徒参加者数	人	3,077	2,248	1,056	3,500
放課後子ども教室 参加児童数	人	3,053	3,501	4,065	5,400

現状と課題

ライフスタイルや社会情勢が変化し、青少年を取り巻く環境が複雑・多様化する中で、学校、青少年育成団体、民間団体及び地域社会が連携し、様々な自然体験や社会体験、ボランティア体験などを青少年に提供することにより、子どもたちの豊かな人間性や社会性の育成に努めています。

また、小学校や子ども館ふれあいひろばなどを活用し、様々な体験や地域との交流活動などを行う場を提供することにより、子どもたちが放課後や休日などに安全・安心に過ごせる居場所づくりを推進しています。

今後は、青少年育成団体が主体となって様々な体験・交流活動を行っていくことが求められるとともに、放課後子ども教室などの総合的な調整役となるコーディネーター等スタッフとなる人員確保が必要となっています。

さらに、子どもが地域において安心・安全に感じられる場所となるよう、子どもの視点に立った居場所づくりに取り組む必要があります。



施策の方向

1 青少年の体験学習環境の整備を図ります。

地域住民、青少年育成団体、民間団体などの協力を得て、自然体験や社会体験、スポーツ、ボランティアなど様々な体験学習活動の充実を図り、青少年の成長にあわせ豊かな人間性や社会性を育みます。

主な事業 青少年健全育成事業

2 子どもの安全・安心な居場所づくりを進めます。

小学校や子ども館ふれあいひろばなどを活用し、地域住民などの参画を得て、放課後や休日などに子どもたちの体験活動や交流活動ができる場を提供し、子どもたちの生きる力を培うための「子どもの居場所づくり」を推進します。

主な事業 放課後子ども教室推進事業、子どもの居場所づくり推進事業、子育て支援センター管理運営事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 地域における青少年の体験・交流活動の支援
- 放課後の子どもの居場所づくりへの参加・協力

行政の役割

- 体験・交流活動プログラムの拡充
- 青少年の放課後対策事業の推進
- 子どもの居場所づくりの推進

関連する個別計画

- 成田市子ども・子育て支援事業計画、成田市生涯学習推進計画、成田市学校教育振興基本計画



3-2-1

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

3-2 学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり



市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する

4年後の
目指す姿

生涯にわたり学ぶことができる学習機会が充実し、学習成果を地域活動につなげるための体制が整っています。

4年間の
取組方針

市民が生涯にわたり学ぶことができる環境の整備や学習機会の充実を図るとともに、学習成果を地域活動につなげるための仕組みづくりを促進します。また、大学や高等学校と連携し、講演会や講座の開催などを通じて、生涯学習を推進します。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
生涯大学院の入学者数	人	92	47	54	100
市民の図書館利用登録率	%	26.8	28.8	24.3	30.0
公民館講座延べ参加者数	人	6,564	5,444	1,518	6,000

現状と課題

市民の学習意欲の高まりや多様化する学習ニーズに応えるため、参加しやすい生涯学習の環境づくりや学習成果を地域活動につなげるための仕組みづくりに取り組んでいます。

市民の学習ニーズは、年齢や個人の趣味趣向などにより多種多様であり、これまで様々な分野の講座などを実施してきたところですが、スマートフォンの普及等による学習環境や情報収集手段の多様化、高齢者の就業促進などを背景に、市民の生涯学習の形態や手法は変化しています。今後は市民のニーズを的確に把握し、魅力ある講座を提供するなど学習内容の質の充実に努めるとともに、オンラインでの講座の開催や情報発信を積極的に行い、広く周知を図っていく必要があります。

また、市民の生涯学習活動の場として、公民館や図書館などの施設について誰もが利用しやすい環境の整備が求められています。



施策の方向

1 市民が参加しやすい生涯学習を推進します。

年齢や世代に応じた学習機会の提供と内容の充実を図り、生涯にわたり学ぶことのできる環境づくりに努めます。また、指導者やボランティアなどの育成に努め、学習成果を発表する機会の確保など、学んだことを生かす仕組みづくりを推進します。

主な事業 生涯大学校管理運営事業、明治大学・成田社会人大学運営事業、公民館講座教室等開催事業

2 市民の多様なニーズに応える図書館サービスを充実します。

地域の情報拠点として蔵書の充実を図るとともに、電子書籍サービスやインターネットでの貸出し予約など様々なサービスの提供に努めます。また、子どもが読書への関心を高める取組みを推進します。

主な事業 図書整備事業、図書館事業

3 生涯学習施設を充実します。

公民館や図書館などの生涯学習施設については誰もが利用しやすい環境を整え、各施設が連携し効率的・効果的な生涯学習の展開に努めます。また、赤坂センター地区において生涯学習を支援するための多機能な複合施設の整備を検討します。

主な事業 公民館施設維持管理事業、図書館施設維持管理事業、赤坂センター地区複合施設整備事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 生涯学習の機会や場の積極的活用
- 学習成果の地域や社会への還元

行政の役割

- 生涯学習の内容や環境の充実
- 多様な人材が地域の担い手となる体制の整備
- 図書館サービスの充実

関連する個別計画

- 成田市生涯学習推進計画、成田市立図書館サービス計画、成田市子どもの読書活動推進計画



3-2-2

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

3-2 学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり



成田の地域文化や伝統を学ぶ機会を創出する

4年後の
目指す姿

文化芸術活動が盛んに行なわれ、市民の地域文化への理解が深まり伝統文化を次の世代に伝えていける体制が整っています。

4年間の
取組方針

文化芸術に触れ合う機会を市民に提供するとともに、文化団体や市民が活動しやすい環境整備に努めます。また、地域文化の学習機会の拡充や、伝統文化や文化財の保存・活用を図り、次の世代へ継承する体制を整えます。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
市民1人当たりの文化施設等における年間文化芸術活動回数	回	3.6	4.1	2.2	4.5
史跡めぐり・歴史講演会等への参加者数	人	438	404	0	500

現状と課題

地域に根差した文化や芸術などの振興を図るとともに保存・継承していくため、文化芸術活動の推進や成田の伝統文化に触れる機会の提供などに取り組んでいます。

市民の文化芸術活動は、国際文化会館や文化芸術センター、公民館等を主な場所として行われており、文化活動をより活性化するためには、市民が活動しやすい文化施設の環境づくりをさらに進めていく必要があります。

また、地域文化への理解が深まり伝統文化を次の世代に継承していくために、成田の歴史や文化財に関する講演会や史跡めぐりの開催など学ぶ機会の拡充を図るとともに、成田山新勝寺をはじめとした有形文化財や「成田のおどり花見」などの無形民俗文化財を成田の文化資源として活用した幅広い事業展開が求められています。



施策の方向

1 文化芸術活動を実践しやすい環境づくりに努めます。

多様なニーズをとらえた事業を実施するとともに文化芸術の振興に向けた環境づくりを推進するため、国際文化会館の再整備に向けた検討を進めます。また、文化財資料の保存施設として旧高岡小学校の利活用を図ります。

主な事業 文化芸術センター管理運営事業、国際文化会館施設整備事業、文化財保存展示施設整備事業

2 成田にある伝統文化を保存・活用し、未来に継承します。

伝統文化、有形・無形文化財など地域で守られてきた文化資源の保存・活用を図り、啓発事業の拡充や成田の文化芸術に対する市民の理解を深めます。また、地域で伝えられてきた伝統文化（伝統的な郷土芸能）を未来に継承していきます。

主な事業 文化財保護啓発事業、文化財等維持管理事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 市民の自主的な文化芸術活動
- 文化芸術活動を通じた成田の魅力アップへの貢献
- 文化資源活用事業への参加による成田の魅力の認知

行政の役割

- 文化芸術活動の場と機会の提供
- 地域における文化活動への支援
- 文化資源の周知・啓発

関連する個別計画

- 成田市生涯学習推進計画、成田市学校教育振興基本計画、成田市文化芸術推進基本計画





スポーツに親しめる環境をつくる

4年後の
目指す姿

年齢や性別、障がいの有無に関わらずそれぞれの関心、適性等に応じて多様なスポーツを日常的に親しんでいます。

4年間の
取組方針

誰もがスポーツを楽しめる機会を創出するとともに、スポーツを通じた共生社会の実現に向けて取り組めます。また、スポーツ活動を支える団体や人材を支援し、スポーツを通じた地域づくりや地域の活性化を推進します。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
各種スポーツ イベント参加者数	人	10,442	22,756	16,387	24,500
パラスポーツイベントの 参加者数【重点指標】	人	—	144	5,883	7,600
総合型地域スポーツ クラブ数	団体	0	1	3	4
スポーツ施設 利用者数	万人	103	107	102	109

現状と課題

誰もが気軽にスポーツに参加することができるようスポーツ活動の推進を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機にスポーツをきっかけとした共生社会の実現に向け、パラスポーツの普及推進や、スポーツ施設のバリアフリー化など様々な取組みを進めています。

スポーツ活動は、健康で活力に満ちた豊かな生活を送る上で大きな役割を果たすとともに、仲間づくりや、地域コミュニティの創造をはじめ、高齢者や障がい者の社会参加を図るための手段としても期待されています。

今後も、子どもや高齢者、障がい者など幅広い市民が自発的に様々な形でスポーツ活動に取り組めるよう参加機会の充実を図るとともに、多様化するニーズに対応した利用しやすいスポーツ環境を提供し、スポーツの振興を図っていくことが必要となります。



施策の方向

1 誰もが参加できるスポーツ活動を促進します。

誰もがいつでも気軽に参加できるスポーツイベント等を実施するとともに、観戦機会の拡充やイベントに関する積極的な情報提供を進めます。また、スポーツ指導者の育成や確保、総合型地域スポーツクラブのPR活動・支援を推進します。

主な事業 各種大会教室等の開催事業、スポーツ団体育成事業、スポーツツーリズム推進事業

2 スポーツを通じた交流活動を促進します。

スポーツを通じて、市民同士や地域間の交流促進を図ります。また、国内外の大規模なスポーツイベントや競技大会を積極的に誘致し、参加者との交流を図るとともに、本市の魅力発信に努めます。

主な事業 各種競技大会誘致事業、競技力向上事業

3 スポーツ施設の充実を図ります。

気軽にスポーツに取り組むことのできるスポーツ広場や、本格的に活動できる運動公園など、市民が利用しやすく、快適にスポーツを楽しめる環境を提供するため、スポーツ施設の充実に努めます。

主な事業 運動公園等整備事業、スポーツ広場等整備事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- スポーツの意義や価値に対する理解
- スポーツ活動への積極的な関わり

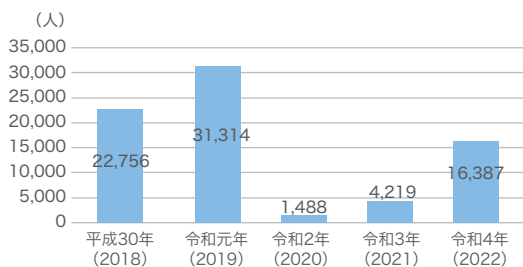
行政の役割

- 市民の的確なスポーツニーズの把握
- スポーツイベントへの参加啓発と情報提供
- スポーツ施設の整備・管理運営

関連する個別計画

- 成田市スポーツ振興マスタープラン、成田市学校教育振興基本計画、成田市スポーツツーリズム推進戦略

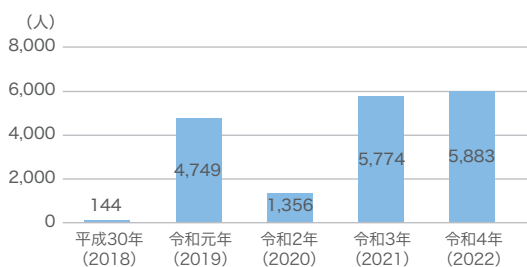
各種スポーツイベント参加者数



■ 各種スポーツイベント参加者数

資料：スポーツ振興課

パラスポーツイベントの参加者数



■ パラスポーツイベントの参加者数

資料：スポーツ振興課

3-3-1

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

3-3 国際性豊かなまちづくり



国際理解を促進する

4年後の
目指す姿

一人ひとりが英語で自分の思いを発信するコミュニケーション能力が向上し、国際的な視野を持って多様な文化を理解することで、多文化共生社会が実現しています。

4年間の
取組方針

市が行う英語講座などを通じ、市民が自主的に多文化を学ぶ機会を提供するとともに、外国人が日本の生活習慣に慣れるよう様々な支援を行います。また、小中義務教育学校においては実践的な英語教育の充実を図ります。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
小中学校英語アンケート 「英語の学習が好きですか」 で「はい」の割合 【重点指標】	%	86.7	84.8	81.7	88.0
成人式での英語に 関するアンケート 「外国人に話しかけられたら 応えてあげますか」で 「はい」の割合	%	83.8	90.0	74.7	92.0
国際理解講座参加者数	人	1,720	2,275	138	2,790

現状と課題

国際理解力が育まれた人材の育成に向けて、市内全小中義務教育学校に外国人英語講師（ALT）を配置し、教育課程特例校として英語教育の充実に取り組むとともに、社会教育の場においては、市民の英語によるコミュニケーション能力を培うため、英語講座など自主的な学びにつなげる場を提供しています。

また、グローバル化の進展に伴い、増加が見込まれる外国人住民に対し、総合相談窓口での生活相談の対応や、日本語教室の開催、小中義務教育学校への日本語教育補助員の配置などにより、学校生活や日常生活への支援を充実させることが求められています。

さらには、日本人住民と外国人住民が多様な価値観を認め合いながら、共に学び、共に働き、共に安心して暮らすことができる持続可能な多文化共生社会の実現を目指し、各種施策を推進していく必要があります。



施策の方向

1 英語によるコミュニケーション能力の育成を目指します。

市内全小中義務教育学校に外国人英語講師（ALT）を配置し、効果的な指導方法の情報共有を図るため研修会を実施します。また、市が行う英語講座などの情報を掲載し、市民の自主的な学びにつなげる場を提供します。

主な事業 英語科研究推進事業、公民館講座教室等開催事業、高等学校等開放講座開催事業

2 異なる国や文化への理解を深めます。

外国の文化を紹介する交流行事など、多文化共生をテーマにした交流イベントを開催します。学校では、外国人英語講師による多文化を学ぶ授業や、ICTを活用した外国の児童生徒とのオンライン交流会を行います。

主な事業 国際交流事業、英語科研究推進事業

3 外国人の日常生活を支援します。

外国人総合相談窓口において、生活に係る相談や情報提供について多言語で対応し、日常生活への適応を支援するとともに、日本語が十分に理解できない外国人児童生徒のために、日本語教育補助員による支援を行います。

主な事業 外国人に係る総合相談窓口運営事業、日本語教育補助員配置事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 異文化に対する積極的な関心と理解
- 英語教育、国際理解教育への理解と協力

行政の役割

- 異文化教育の促進
- 多言語による相談窓口の運営
- 英語教育の推進

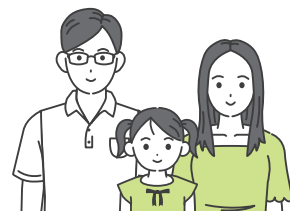
関連する個別計画

- 成田市多文化共生指針、成田市学校教育振興基本計画

国籍別外国人住民の人口（令和5（2023）年12月末現在）

1	2	3	4	5	6
ネパール	フィリピン	ベトナム	中国	スリランカ	インドネシア
1,424	1,128	996	961	753	448
7	8	9	10	合計	
タイ	韓国	ペルー	台湾	その他	77か国
431	423	328	278	1,074	8,244

資料：市民課



3-3-2

第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）

3-3 国際性豊かなまちづくり



国際交流を推進する

4年後の
目指す姿

多くの外国人が市内に在住し、国際交流イベントや友好・姉妹都市との交流が、市民を中心に行われています。

4年間の
取組方針

本市の友好・姉妹都市との交流を深めます。また、成田市国際交流協会の活動に対する市民の参加を促すとともに、国際交流イベントなどを通じて多くの外国人と共に暮らせるまちづくりを進めます。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
外国人交流イベント 参加者数 (国際交流協会等)	人	928	343	265	650
成田市多文化交流 フェスティバル 参加者数【重点指標】	人	-	-	-	350

現状と課題

新型コロナウイルス感染症の出入国制限の緩和に伴い、これまで中止を余儀なくされていた友好・姉妹都市関係にある海外の都市との交流や外国人住民との交流を目的とした国際交流イベントなどについて、順次再開しています。

また、本市を訪れる外国人はもとより、市内に居住する外国人の増加が見込まれることから、国籍等の違いにとらわれず、お互いの文化を尊重し共に暮らせるまちを実現するため、国際交流協会と連携し、国際交流イベントや交流事業などを積極的に推進することにより、外国人住民と日本人住民が互いに理解を深めていくことが求められています。



施策の方向

1 友好・姉妹都市をはじめとする諸外国との国際交流を推進します。

国際都市成田として、ホームステイ交流やオンライン交流などにより友好・姉妹都市との交流を深め、市民が海外を身近に感じられるように努めるとともに、国際交流イベント等を通じて、市民の国際性の涵養を図ります。

主な事業 国際交流事業

2 外国人住民と日本人住民との交流を進めます。

国際交流に関する情報を積極的に発信し周知を図ることで、より多くの外国人住民と日本人住民が交流し、互いの文化を理解する場を提供するとともに、外国人住民が地域社会に参画するきっかけづくりに努めます。

主な事業 国際交流事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 国際交流事業への積極的な参加・協力
- 国際文化・国際交流への興味・関心

行政の役割

- 友好・姉妹都市との交流関係の維持・連絡・情報交換
- 国際交流協会事業の周知・市民への情報提供
- 友好・姉妹都市に関する情報提供・交流できる場の提供

関連する個別計画

- 成田市多文化共生指針



中国・咸陽市



アメリカ・サンブルーノ市



韓国・仁川広域市中区



韓国・井邑市



ニュージーランド・フォクストン



台湾・桃園市

